

総会記事

昭和四十七年度総会は会長宮崎直生先生の岡山大学法文学部教授へご依頼の法別会を兼ねて、五月十四日（日）午後一時から弘前市徒町川端町「平野」で、三十一名が出席して開かれた。

総会は佐藤仁委員が議長となつて進められ、先ず宮崎会長として最後の挨拶をされた。

「本研究会が発足してかなり年数は経っているが、必ずしも予期した発展はしていない現状である。十周年記念事業でべり残しているものがあり、それらをすみやかに実現して実績を積み重ね、互に協力し合つて飛躍的発展をはかるように」

との要望をかねた挨拶があつた。

それから議事に入り、会務報告（荒井委員）、監査報告（千葉監事）、会計報告（荒井委員）が行なわれて、それぞれ異議なく承認された。

現在会費納入会員は八十名である。

ついで会則審議にうつり、諸事物価高の折柄、会則才九条の「会費年額二百円」を「三百円」に値上げしたいとの原案が荒井委から提案され、可決された。

役員改選は会長の転任にとともに新しい新会長を選ぶことになったが、新会長に副会長の虎尾俊哉先生、副会長の後任に藤野直生先生を推す事務局案が出されて異議なく承認された。

他の委員・監事については新会長に選任が委ねられた。

また、会則才六条「本会に顧問を置くことができ」という規定によって新しく宮崎前会長を顧問として推戴することとした。

そのあと虎尾新会長が立ち、「自分は本会創立当時より関係しているが、時代の影響もあって変化して来ている。会員の老齢化もその一つであるが、今後皆さんの協力を得て会の一層の発展を図りたい」と挨拶し、総会を終了した。

引続き宮崎直生先生の送別会に移った。虎尾会長が惜別の情をこめて送別の辞を述べたあと、宮崎先生から岡山大へ転任の決断した事情と謝辞を述べられた。千葉良一氏が会員を代表して記念品を贈呈し、羽賀教養部長の音頭で乾杯、宴会に入った。

午後五時過ぎ散会。

なお、後日委員・監事が会長から委嘱され、役員は次の通りとなった。

顧問	宮崎直生（岡山大）	藤野直生（人文学部）
会長	虎尾俊哉（教育学部）	石戸谷正司（弘中央高）
副会長	羽賀与七郎（教養部）	井上 又（県立第二高）
委員	荒井清明（弘中央高）	工藤守夫（弘前三中）
	稲葉克夫（北南高分校）	小館表三（弘実高）
	菊地修一（弘二葉高）	有藤善彦（弘前三中）
	黒竜十三郎（弘中央高）	月足正郎（弘大付中）
	佐藤 仁（弘前南高）	村越 潔（教育学部）
	千葉良一（金不南中）	大川哲夫（木造高）
	橋本正信（弘大付中）	
	喉名藤一（金本高）	